TROPF-BLUMAT

blumat.com

TROPF-BLUMAT
インテリジェントな自動給水システム

このたびはTropf-Blumat自動給水システムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

Tropf-Blumatは電気や電子機器なしで作動する全自動給水システムです。Tropf-Blumatの最大の利点は、それぞれの植物に個別に給水できるという点です。そのため、水をやりすぎることがなく、植物の生長を促すことができます。

本取扱説明書では順を追って設置方法を説明していきます。さらなるヒントやコツは弊社のホームページをご覧ください。

それでは、早速水やりにお役立てください！

本製品の用途:
屋外植物への点滴灌漑

推奨される使用対象:
テラス、バルコニー、温室、温室トンネル、上げ床
花壇の植物

すべての植物に対応:
Tropf-Blumatシステムは果物や野菜の水やりにも安心してお使いいただけます。いずれの製品もオーストリア飲料水条例の基準に従ってテストされており、すべての制限値を大きく下回っています。どのTropf-Blumatにもビスフェノール A（BPA）およびフタル酸エステル類は含まれていません。

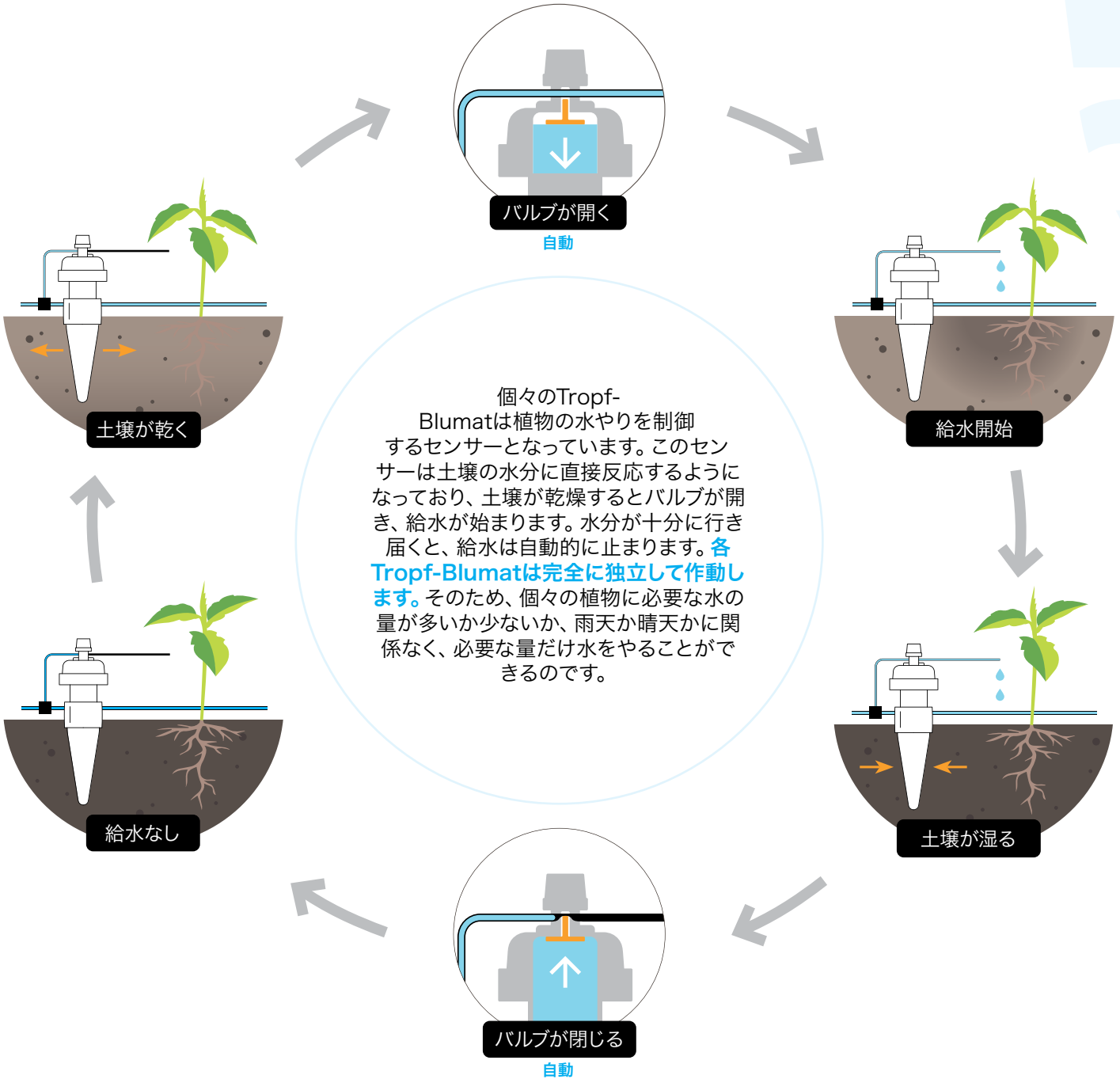
スマートでシンプル:
植物が必要な分だけ給水されるので、タイマーもアプリも不要。どんなアプリよりも優秀だといえます。水やりに惑わされることなく、ソファーに座ってくつろぎながら、あなたの植物の素敵な写真をお友達に送りませんか。

持続可能なシステム:
ぜひご自身でお確かめください。Tropf-Blumatは電気を使わず、植物が必要な量の水だけを使用。プラスチック部品にはUVカット加工が施されており、耐用年数が長くなっています。部品はすべて個別にお買い求めいただけるようになっており、交換可能です。

製品の保証:
弊社の目標はお客様にご満足いただくことです。そのため、すべてのBlumat製品でご購入日より36ヶ月間の保証期間を設けております。ご不満な点がございましたら、お買い上げの販売店にご連絡いただくか、弊社（info@blumat.at）まで直接お問い合わせください。

本商品はオーストリア製の高品質な製品です。

作用

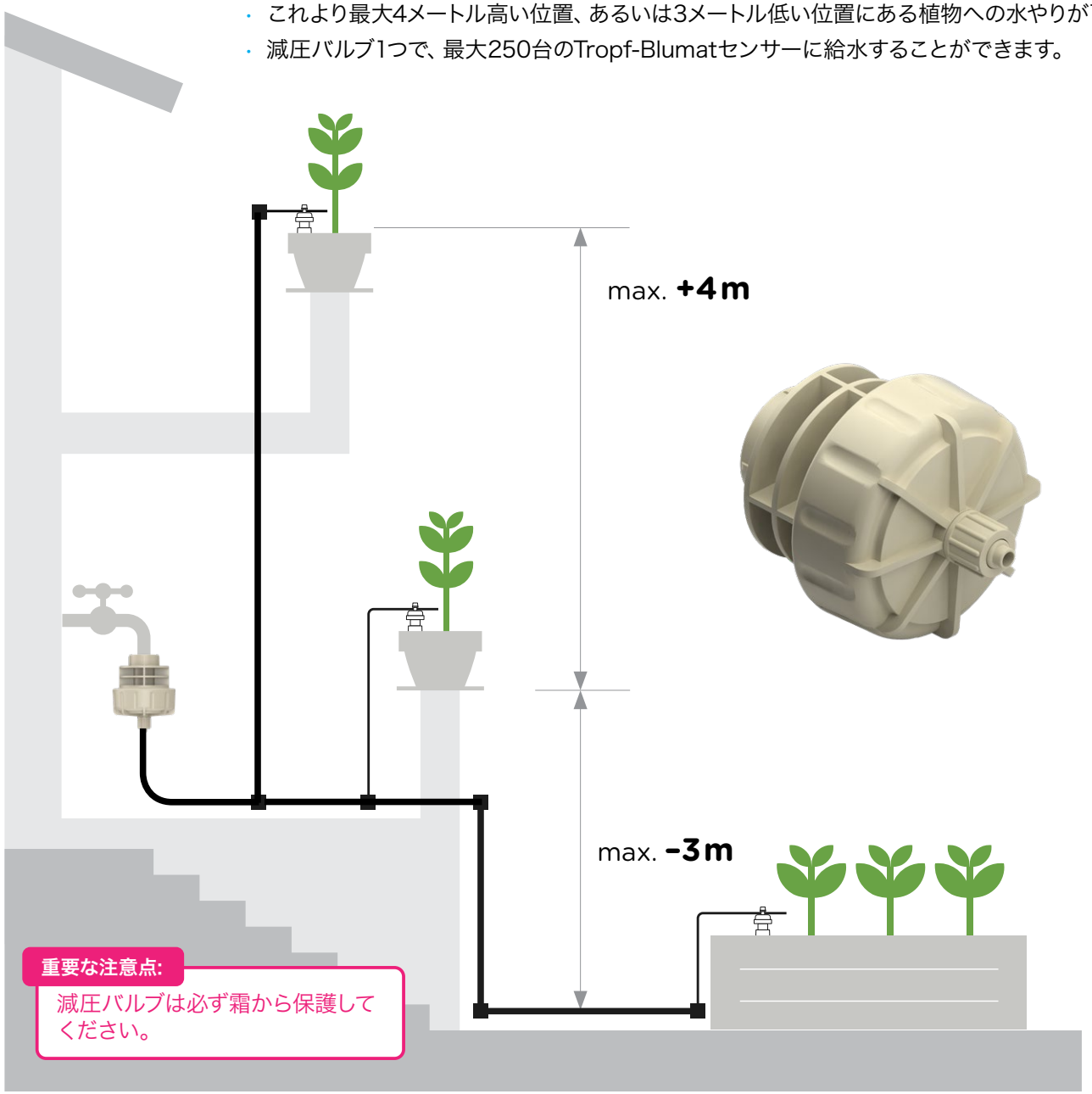


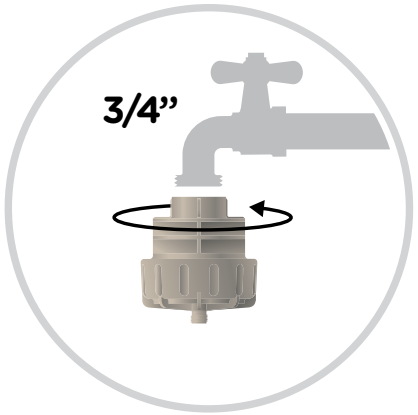
個々のTropf-Blumatは植物の水やりを制御するセンサーとなっています。このセンサーは土壌の水分に直接反応するようになっており、土壌が乾燥するとバルブが開き、給水が始まります。水分が十分に行き届くと、給水は自動的に止まります。**各Tropf-Blumatは完全に独立して作動します。**そのため、個々の植物に必要な水の量が多いか少ないか、雨天か晴天かに関係なく、必要な量だけ水をやることができるのです。

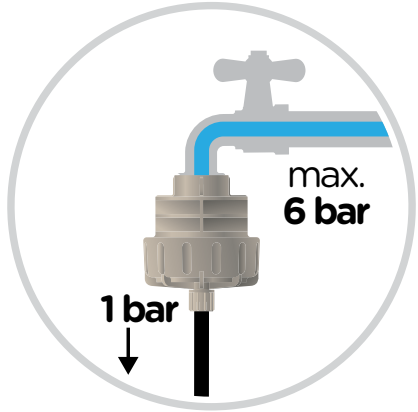
給水方法 - オプションA

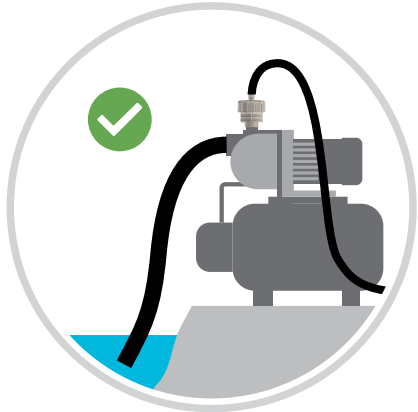
減圧バルブ

- 減圧バルブを蛇口か調整タンク付きポンプに接続します。
- 圧力が常時1バールに調整されます。
- これより最大4メートル高い位置、あるいは3メートル低い位置にある植物への水やりが可能です。
- 減圧バルブ1つで、最大250台のTropf-Blumatセンサーに給水することができます。









給水方法 - オプションB

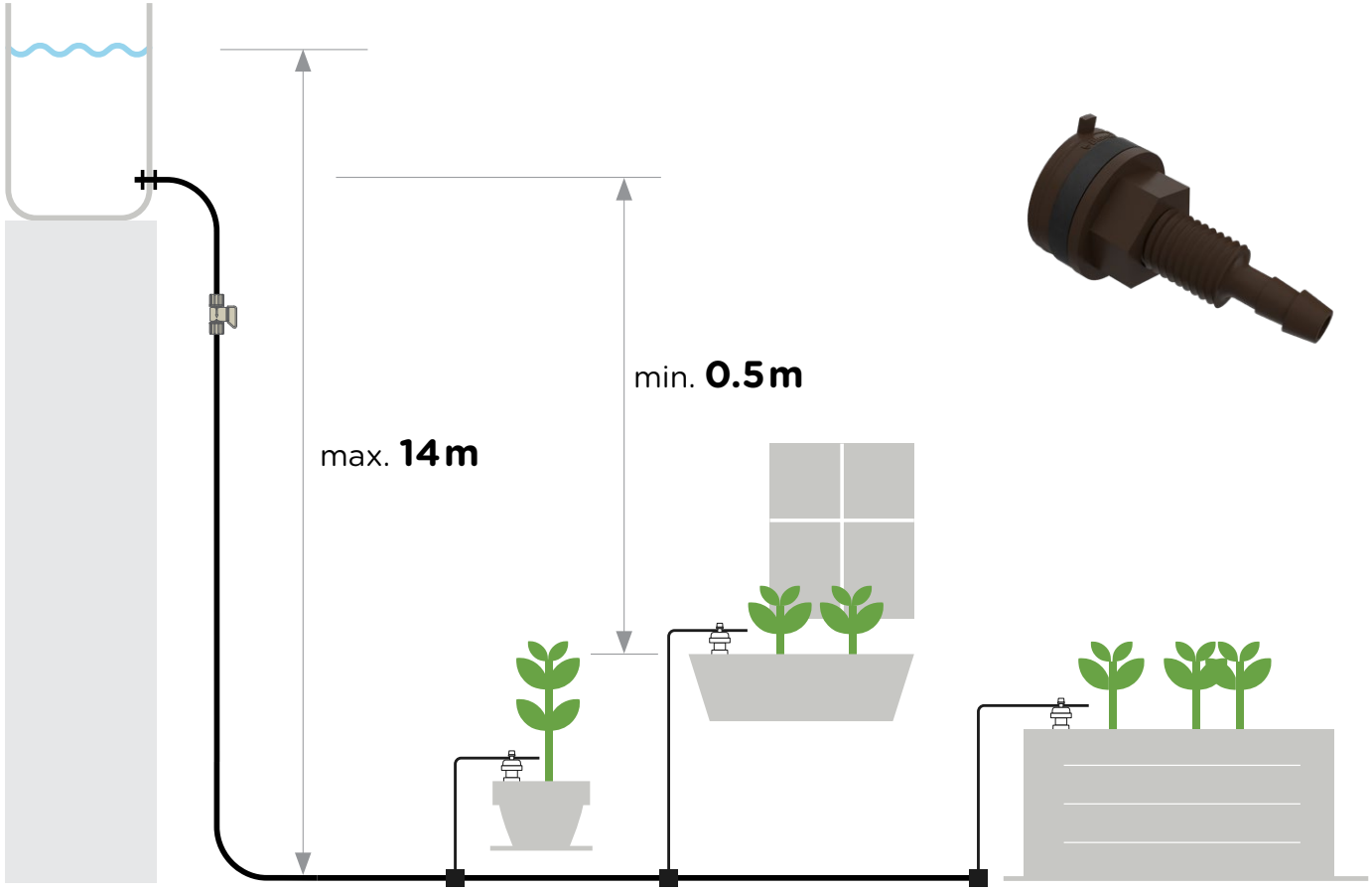
タンク コネクター

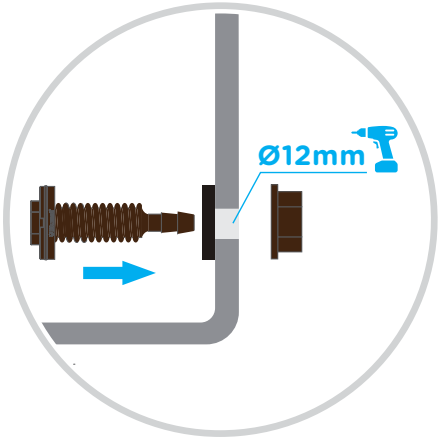
- タンク コネクターを任意の容器に取り付けます。このとき、直径12 mmの穴をあけてください。
- タンクは必ず植物よりも高い位置に設置してください（水位が少なくとも0.5 m以上、最大で高さ14 mになるように）。
- 特に雨水を使用する場合は、さらにタンク フィルターを設置してください。

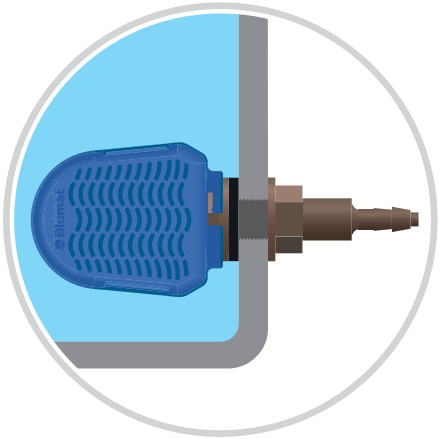
弊社からのアドバイス: 水位がセンサーの少なくとも1メートル上にくるようにしてください。

ヒント: フタのできる不透明なタンクを使用すると、藻の繁殖を抑えることができます。

ヒント: タンク コネクター後方のフィーディング チューブにシャットオフ バルブを取り付けると、あとからタンクの調整やクリーニングを簡単に行えるようになります。



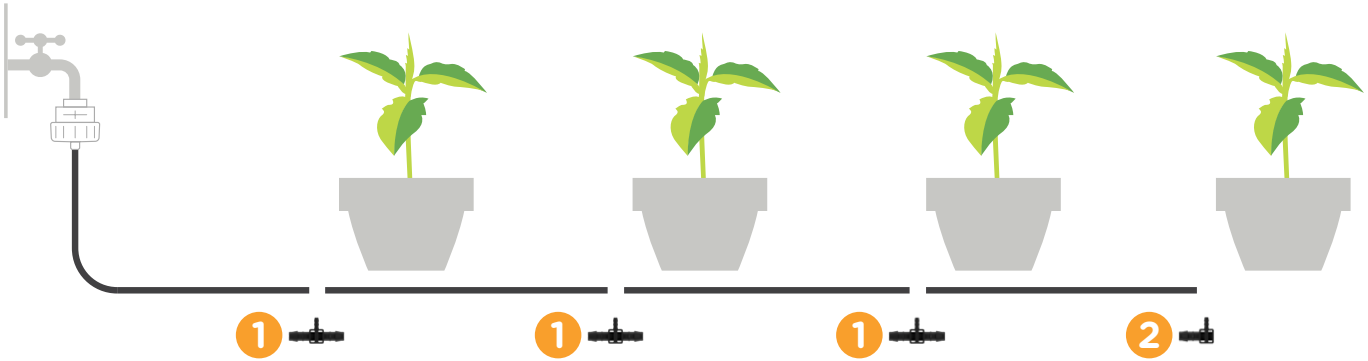


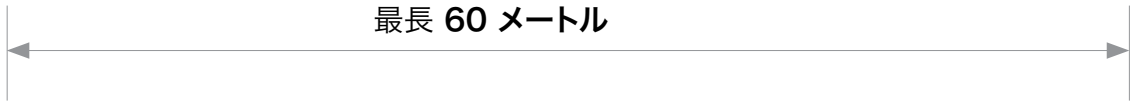


フィーディング チューブの取り回し

- 減圧バルブ / タンクから植物へとフィーディング チューブを取り回します。
- 取り付け前にフィーディング チューブを（温水や日光により）温めておくと、取り回しやすくなります。チューブが折れないようにすること！
- それぞれの植物のところでチューブを切断し、Tピース 1 を装着してください。最端部にはエンド ピース 2 を使用します。
- チューブを必ず完全に押し込んでください。3
- セットに最初から付いているドリップ チューブは、初回取り付け時にTピース / エンド ピースに取り付けたまま使用することもできます。

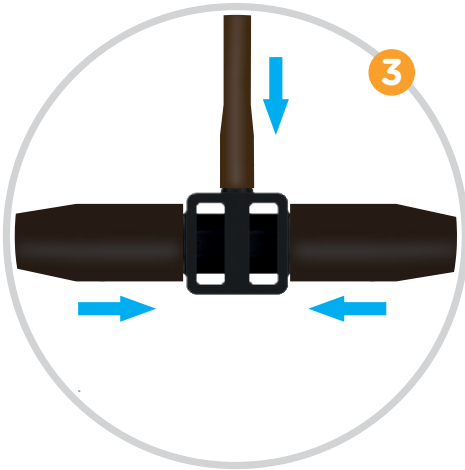
Info: フィーディング チューブは地面や壁に直接取り付けるのには適していません。その場合はさらに空配管を使用し、接続ピースに手が届くようにしてください。





重要な注意点:

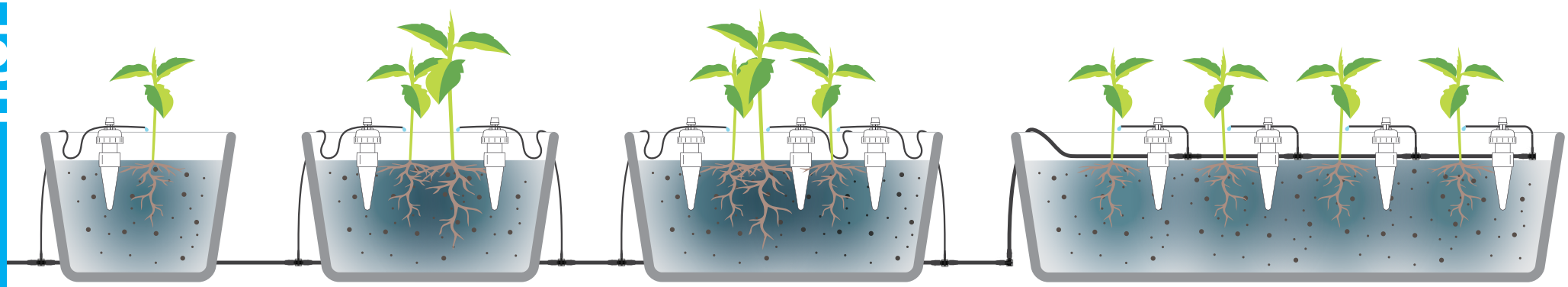
押し込む際には潤滑剤（グリース、石鹸など）は一切使用しないでください！チューブが損傷します。



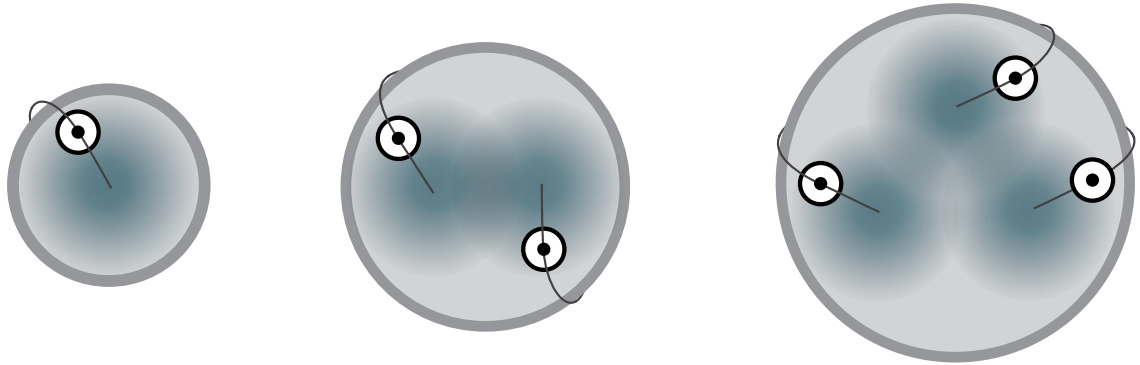
必要数 / プランニング

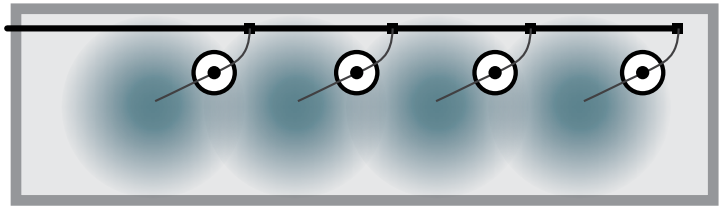
- 1株あたり、または植木鉢1鉢あたりに最低1台のTropf-Blumatを設置してください。
- 1台のTropf-Blumatで直径約20～25 cmの土壌に給水することができます。

Info: 給水はセラミック コーンではなく、細いドリップ チューブから行われます。セラミック コーンとその中の水は、給水の制御にのみ使用されます。



Ø25 cm　Ø40 cm　Ø50 cm　~100 cm





Tropf-Blumat　フィーディング チューブ　ドリップ チューブ

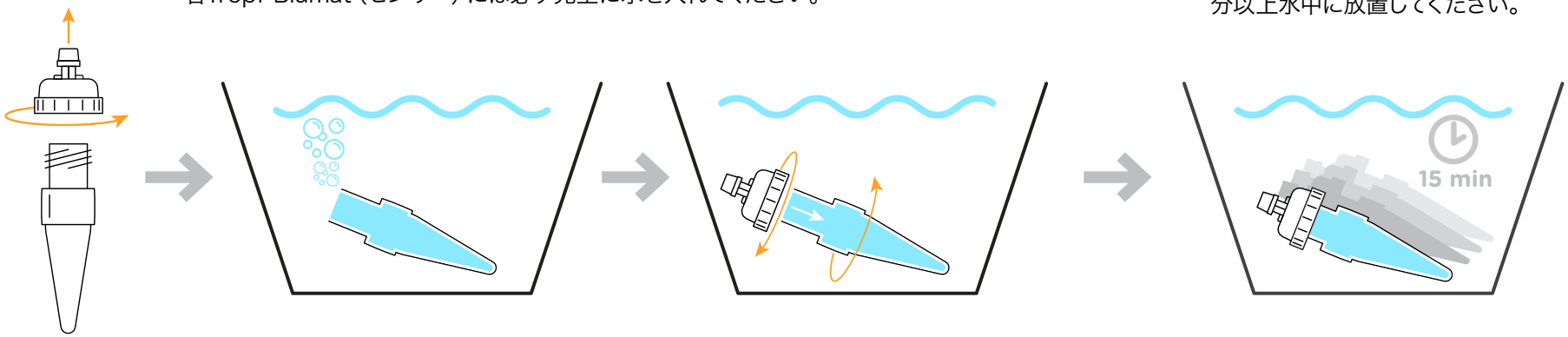
TROPF-BLUMATセンサーの取り付け

1.

上部を回して外し、水中で再びしっかりとねじ止めします。
各Tropf-Blumat（センサー）には必ず完全に水を入れてください。

2.

水を入れてねじ止めした状態のセンサーを15分以上水中に放置してください。

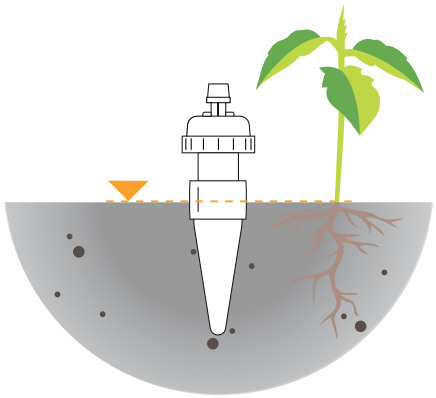


3.

このステップは特に重要です！さらに取り付け作業を行う前には、必ずすべての植木鉢の土に数回、十分に水をやってください。

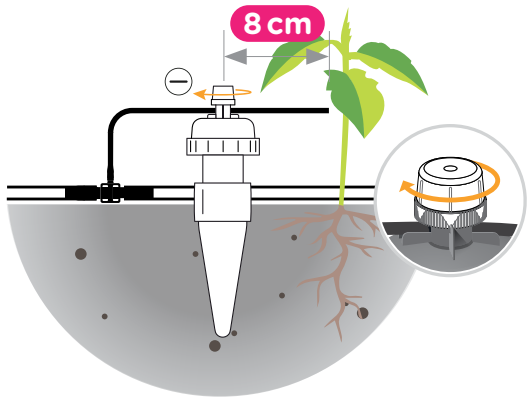
4.

植物の横の湿らせた土にTropf-Blumatを差し込みます（株から約10〜15 cmのところ）。セラミック コーンを完全に土の中に埋め込み、土を押し固めます。



5.

フレキシブルなドリップ チューブをTピースかエンド ピースに接続し、Tropf-Blumatに通します。チューブの端がTropf-Blumatから約8 cm突き出すようにし、植物の周辺にくるようにしてください。最後に調整スクリューを締めます。

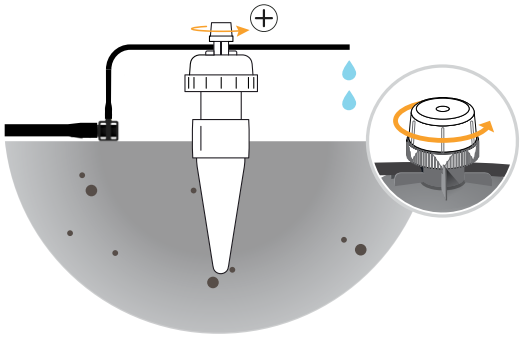


調整方法

- 蛇口をひねり、すべてのセンサーが「閉」状態になっていることを確認してください。この段階で給水されていないこと！必要であれば、調整スクリューをさらに締めてください。
- システムの空気を抜くため、最後のTropf-Blumatから調整を開始します

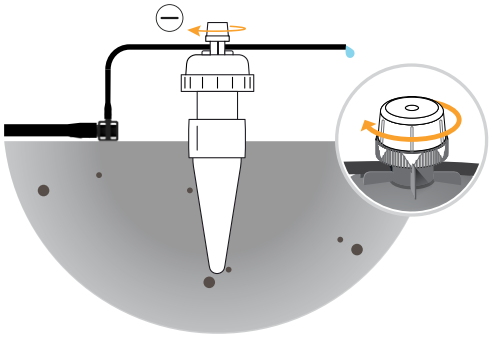
1.

ドリップ チューブから給水が開始されるまで、調整スクリューを反時計回りに回して開きます。



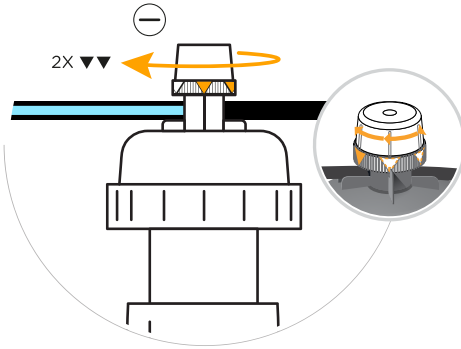
2.

水が出なくなるまで、調整スクリューを再びゆっくりと閉じます。ドリップ チューブにかろうじて水滴が付いているという状態にしてください。



3.

最後に調整スクリューをさらに1/4回転（矢印マーク2つ分）させて閉じます。



これで完了です！この段階では土は湿った状態になっているので、Tropf-Blumatによる給水は行われません。給水が行われるようになるのは、土が乾燥してからです。その他すべてのTropf-Blumatでも同様に調整を行ってください。

確認について

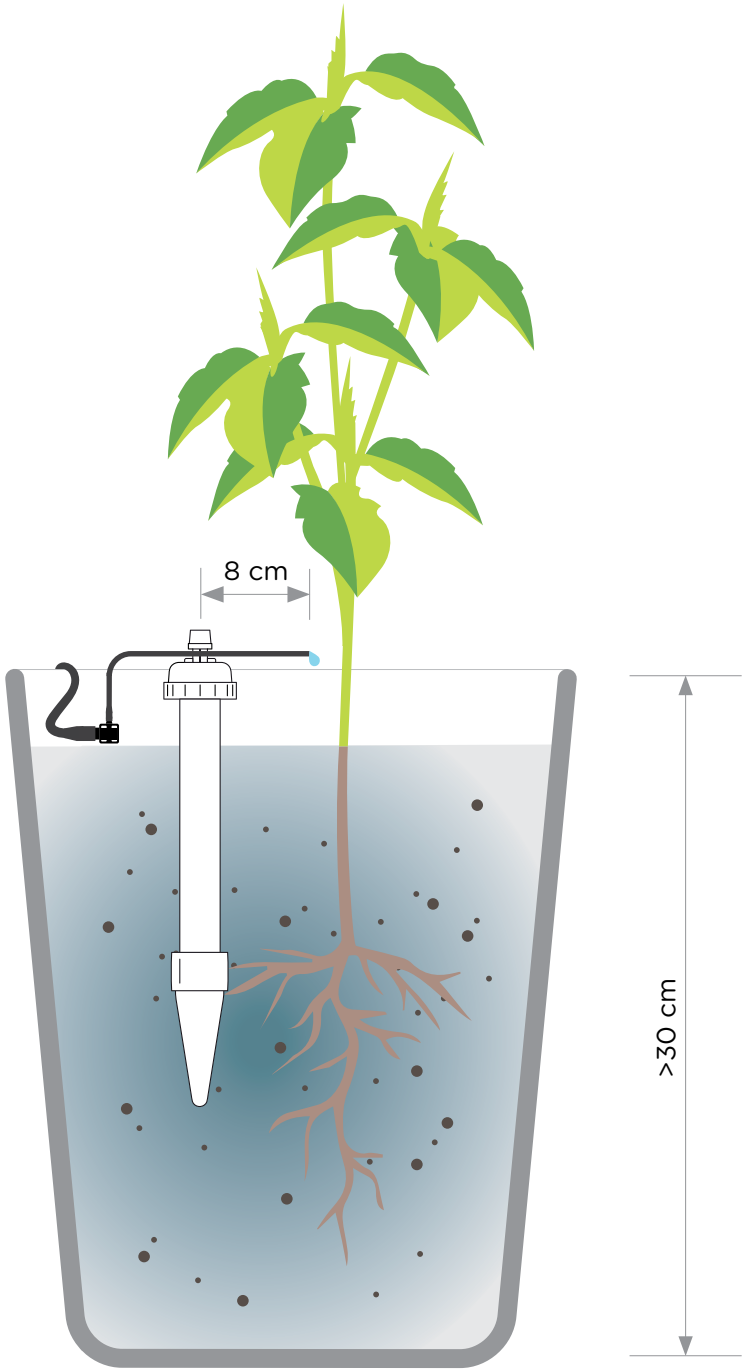
- 取り付けから数日間は、給水されていることを確認してください。必要であれば、開いたり（水量増加）閉じたり（水量減少）して微調整してください。調整は慎重に行ってください。大概の場合は、矢印マークの半分回すだけで十分です。
- 土の表面が乾いているからといって、地中も乾燥しているとは限りません。地下には水が浸透しています。それでも、ドリップ チューブの下だけが湿っているように見えます。
- 常に水道の蛇口を開いておくか、余裕を持って水タンクに水を補充してください。これは雨天時も同じです。給水が中断された状態が長期間にわたると、Tropf-Blumat内の水が根によって吸い上げられてしまいます。水が抜けた状態になると、Tropf-Blumatは機能しません！

TROPF-BLUMAT MAXI

Tropf-Blumat Maxiは、高さ30 cm以上の大きな植木鉢や木鉢に入った植物への水やりに適しています。このタイプでは根の部分に水分が均一に供給され、表面はどちらかというと乾燥した状態になります。

取り付けと調整は、通常のTropf-Blumatと同じです（6〜7ページ）。Tropf-Blumat Maxiでは、さらに以下の点に注意してください。

- 取り付けの30分前には、鉢全体に水分が行きわたるよう、土にたっぷりと水をやってください。
- Tropf-Blumat Maxiを土に差し込み（植物の根球には差し込まないこと）、土を軽く押し固めます。
- しっかりと根が張っている場合や土が非常に固い場合は、穴を掘ってください。穴の半分まで軽く土をかけ、Tropf-Blumat Maxiを挿入します。それからしっかりと水をやり、穴の残りの部分を土で埋めてください。

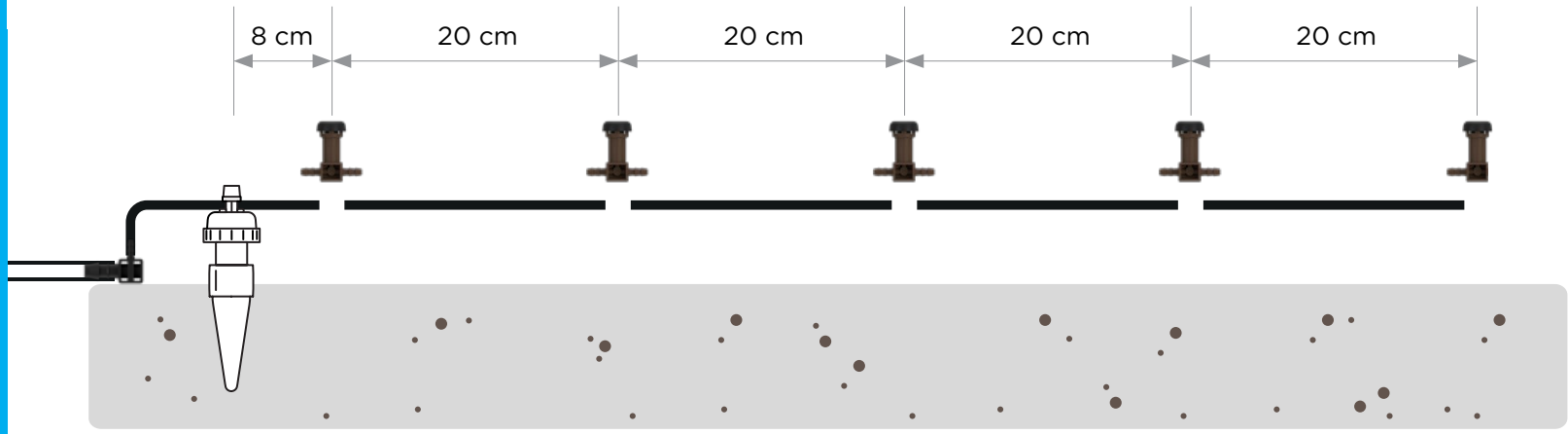


ディストリビューション ドリッパーの使用

Blumatディストリビューション ドリッパーを使用すれば、1台のTropf-Blumatにつき給水ポイントを最大5箇所まで増やすことができます。こうすることで、大きな鉢でも均一な散水が可能になります。

- 細いドリップ チューブを約20 cmの長さのチューブに切断し、最大5個のディストリビューション ドリッパーを使って互いに接続してください。末端部にはエンドディストリビューション ドリッパーを使用します。
- 最初のディストリビューション ドリッパーはTropf-Blumatから8 cmのところに取り付けてください。残りのディストリビューション ドリッパーは植物の根の周辺に任意で配置することができます。
- この段階で、通常通りTropf-Blumatを調整してください。調整が終わるまで、ディストリビューション ドリッパーはTropf-Blumatに接続しないでください。
- 黒いスクリューは調整する必要はありません。年に1回、または必要に応じてスクリューを取り外し、付着した汚れを落としてください。

弊社からのアドバイス: ディストリビューション ドリッパーとタンクを併用する場合は、2メートル以上高いところにタンクを配置するようにしてください。



ヒント:
ディストリビューション ドリッパーはBlumatサポートとセットでお使いください。そうすることで、根が伸びるのを防ぐことができます。

こんなときは...

さらなるヒントやアドバイスは弊社のホームページをご覧ください。

ONLINE FAQ

	問題の原因	解消方法
... センサー内の水が抜ける場合	給水が中断されている場合（蛇口を閉めた状態、タンクが空、チューブの折れ）、または調整スクリューを強く締めすぎた場合は、散水が行われません。一定の時間（植物や気温、降水量によって変化）が経過すると、センサーは空になります。水が抜けた状態になると、Tropf-Blumatは機能しません！	Tropf-Blumatに再度水を入れ、再調整してください。
... TROPF-BLUMATがオフにならない場合	気温が5°C未満になると、Tropf-Blumatの動作が通常よりも遅くなります（秋の夜間の冷え込みなど）。	調整スクリューを閉方向にマーク半分から1つ分回してください。
... ドリップ チューブから水が出ない場合	長期間にわたる保管後やお買い上げの直後には、ドリップ チューブがバルブ付近でくっついていることがあります。性能に問題はありません。	チューブをTropf-Blumatから少し引き出し、押しつぶされた部分を指で揉んでください。
... ドリップ チューブが短すぎる場合	水がセンサーに早く到達しすぎるため、給水時間が短くなり、水量も少なくなります。 *あまり水分を必要としない植物には、この設定が望ましい場合もあります。	ドリップ チューブを8 cmまで延長してください。
... ドリップ チューブが長すぎる場合	水がセンサーに到達するのが非常に遅くなるため、給水時間が長くなり、水量も増えます。 *沢山の水分を必要とする植物には、この設定が望ましい場合もあります。**注意：**ドリップ チューブが長すぎる場合は、散水が止まりません！	ドリップ チューブを8 cmまで短縮してください。

冬越しとお手入れ

冬になる前にはタンクを空にするか、減圧バルブを取り外してください。全センサー内外の汚れを水で洗い流し、セラミック コーンにこびり付いた汚れはサンドペーパーで落としてください。チューブは屋外に出したままで構いませんが、減圧バルブとセンサーは霜の当たらない場所に保管してください。

春になったら

センサーに水を入れて湿らせた土壌に差し込み、新たに調整を行ってください。チューブに漏れがないか確認します（特に接続箇所）。必要に応じてシステムを拡張してください。不要になったTピースやエンド ピースはそのまま塞ぐことができます（付属品を参照）。

通年使用する場合

霜の降りない地域では本製品を通年ご利用いただけます。ただ、時間の経過とともにセンサー内の水が減少するため、早めに水を補充する必要があります。約6～8ヵ月後にはTropf-Blumat内の水位を確認し、必要に応じて水を補充してください。

肥料の使用について

肥料には緩効性肥料をお勧めしています。なるべく給水ポイントに与えるようにしてください。もちろん、じょうろを使った施肥も可能です。

重要な注意点:

Tropf-Blumatは屋外の植物専用に開発されたものです。そのため、屋内では使用しないでください。植物が倒れないように保護し、湿気に敏感な表面には置かないでください。さらに、万が一水が漏れても損傷（地下室に流れ込むなど）がおよばないようにしてください。

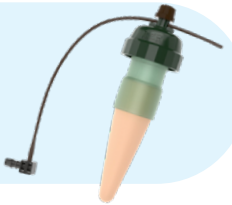
製品一覧

Tropf-Blumatをセットでお求めいただければ、全自動給水システムの接続準備が整った状態になっているので作業が簡単です。
付属品をご利用いただければ、ほとんど自由にシステムを追加・拡張することができます。

SET40
40株に対応、
減圧バルブ付き

SET12
12株に対応、
タンク コネクター付き

Tropf-Blumat
給水センサー



Tropf-Blumat Maxi
大型植物向けの給水センサー

減圧バルブ
出口圧力 1バール、3/4インチ径の蛇口に対応

タンク コネクター
お好きなタンクへの取り付けに使用、12 mmの穴をあける必要あり

フィルター
タンク コネクターに対応

フィーディング チューブ 8 mm
ブラックとホワイトをご用意

シャットオフ バルブ
8 mmのフィーディング チューブに対応

ドリップ チューブ 3 mm
ディストリビューション ドリッパーの接続に使用するフレキシブルな給水ライン

ディストリビューション ドリッパー
Tropf-Blumatへの接続に使用

チューブ固定クランプ
8 mmと3 mmのすべてのチューブに対応

サポート
8 mmのフィーディング チューブとディストリビューション ドリッパーに対応

チューブ ユニオン 8-8 mm
フィーディング チューブの接続に使用

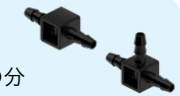
エルボー 8-8 mm
フィーディング チューブの向きを変えるために使用

チューブT 8-8-8 mm
フィーディング チューブの分岐に使用

Tピース 8-3-8 mm
Tropf-Blumatを接続するために使用

エンド ピース 8-3 mm
チューブの端にTropf-Blumatを接続するために使用

ミニTとチューブ ユニオン
3 mmのドリップ チューブの分岐・接続に使用



ストッパー
3 mmの放水口 (Tピース、エンド ピース、ディストリビューション ドリッパー) を塞ぐために使用

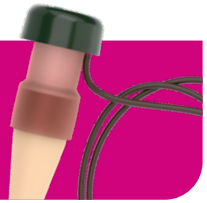
調整保護キャプ
Tropf-Blumatの調整が誤って変更されるのを防ぎます

穴掘り
MaxiとDigitalを簡単に装着できるようにするために使用

Blumat Digital
土壌水分を明確に表示

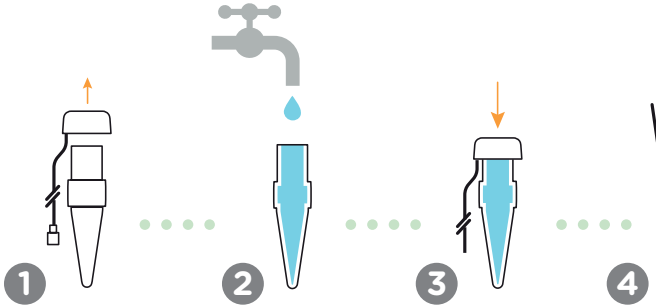
自動給水システム

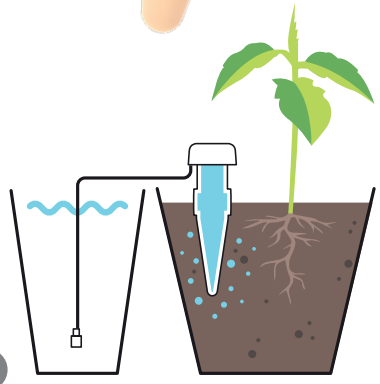
BLUMAT CLASSIC



観葉植物に最適

- 素早く簡単に取り付け可能
- いつもの場所から植物を動かす必要なし
- 植え替え不要
- 全自動で必要な量だけ水やり可能
- 週末のお出かけや長期旅行はもちろん、年中使用可能





Blumat Classic » 約 75 ml / 24 時間
Blumat Classic XL » 約 125 ml / 24 時間

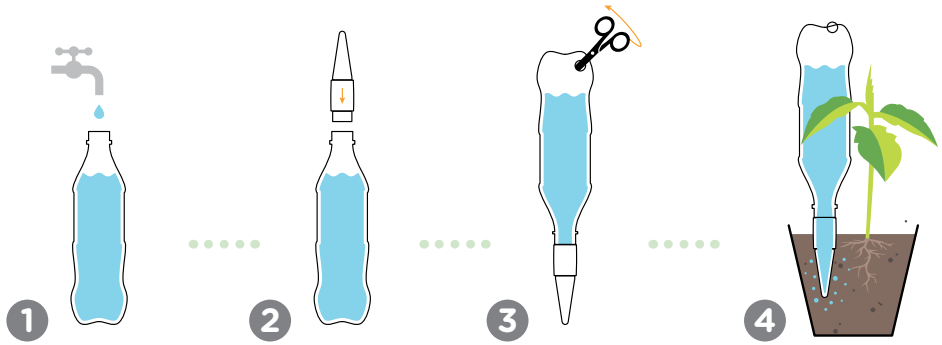
Blumat Classicは観葉植物向けの信頼性の高い給水システムです。設置された容器（お好きなものを使用可能）から水を吸い込み、セラミック コーンから土壌に水を放出します。

このプロセスは自動的に行われるようになっており、植物に必要な量だけ給水が行われます。XLバージョンなら、長期休暇中のバルコニーの植物への水やりにも適しています。

BLUMAT EASY

汎用ボトル アダプター

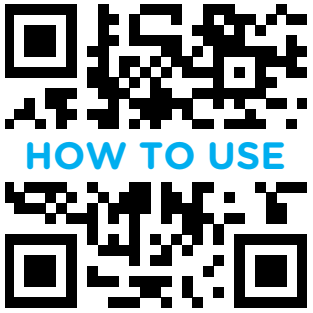
Blumat Easyはバルコニーやテラスの植物はもちろん、観葉植物にも適したシンプルな給水システムです。Easyは0.5〜2リットルの市販のペットボトルの大半に対応しています。ボトルに水を入れてセラミックコーンを取り付け、ボトルに穴を開けて土壌に差し込むだけで、数日間にわたって植物に水が供給されます。



Blumat Easy » 約 200 ml / 24 時間
Blumat Easy XL » 約 300 ml / 24 時間

Info: Blumat ClassicとBlumat Easyは果物や野菜の水やりにも安心してお使いいただけます。
厳格な基準に従って検査されており、ビスフェノールA（BPA）、有機フッ素化合物（PFAS）、フタル酸エステル類は含まれていません。

video guides



blumat.com